

「さくらサイエンスプログラム」参加者の皆さんが、 アジア獣医師会連合(FAVA)ワンヘルス福岡オフィスを訪問



令和5年12月7日(木)、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の国際青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプログラム」の参加者の皆さんが、FAVA ワンヘルス福岡オフィスを訪問されました。

【藏内勇夫所長:挨拶】

ようこそ、FAVA ワンヘルス福岡オフィスにお越しいただきました。次世代のリーダーである活気に満ち溢れた皆さんをお迎えすることができ、大変嬉しく思っています。

今回、皆さんは、人獣共通感染症とデジタルヘルス分野における科学的知識やスキルを学ぶために福岡県にお越しいただいたと伺っております。

FAVA ワンヘルス福岡オフィスは、アジア獣医師会連合の日本事務所として、今年8月に開設しました。FAVA の本部はタイ・バンコクにありますが、今後、アジア、世界に向けてワンヘルスの実践活動をリードする拠点を日本に設置するということから、福岡県、福岡市、地元経済団体が一緒になって、福岡市への誘致を進めてきたものです。

今後、FAVA ワンヘルス福岡オフィスでは、世界保健機関(WHO)、国連食糧農業機関(FAO)、国連ハビタットなどの国際機関と連携し、アジアだけではなく、世界にワンヘルスの実践活動を広げていくための活動を行っていくこととしています。

(一部省略)





マレーシア大学・サバ校病院長
ヘレン・ベネディクト・ラシンバン



九州大学准教授
横田文彦



「さくらサイエンスプログラム」

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が2014年から実施し、新たな時代の社会を担う、世界の優れた人材を日本に短期間招き、日本の最先端な科学技術や文化に触れていただくプログラムです。

このプログラムを通して、「科学技術イノベーションに貢献しうる優秀な人材の養成・確保、国際的頭脳循環の促進等」に貢献し、ひいては、日本及び世界の科学技術・イノベーションの発展に寄与する」ことが目的となっています。